

繰り返し再生性能に優れる再生加熱アスファルト混合物用バインダ（再生用新アスファルト）

ラスファルト 200

昭和瀝青工業株式会社

ラスファルト 200 は繰り返し使用された再生骨材においても、旧アスファルトの品質や組成を回復する効果の高い再生用添加剤を配合した、プレミックスタイプのアスファルトです。

特 徴

- 1. 再生用新アスファルト 150～200 の品質規格（舗装再生便覧）に適合します。
- 2. 再生添加剤等を配合しており、繰り返し再生した場合でも旧アスファルトの性状回復効果が見込めます。
- 3. プレミックスタイプのため、再生添加剤の投入手間が省けます。
- 4. 貯蔵温度、期間、安全管理面は通常のストレートアスファルトと同様の条件で取扱いできます。

適 用 混 合 物

再生密粒度アスコン（13）での再生骨材混入率の目安は、
一般用（再生アスファルト 40～60）については 55～75%、
積雪寒冷地用（再生アスファルト 60～80）については 40～55%です。
なお、再生骨材混入率は必ず配合設計にて事前に確認をお願いします。

使 用 上 の 留 意 点

- 1. 配合設計は、設計針入度または設計圧裂係数への調整を新アスファルトで行う場合に準じます。
- 2. 混合物の製造、施工方法は新規アスファルト混合物と同様に取り扱うことが可能です。

表-1 バインダ性状（例）

項目	ラスファルト 200	社内規格 (新アスファルト 150～200) ※1
針入度 (25℃)	1/10mm 188	150 を超え 200 以下
軟化点	℃ 39.0	30.0～45.0
伸度 (15℃)	cm 100+	100 以上
トルエン可溶分	% 99.93	99.0 以上
引火点	℃ 318	240 以上
蒸発後の質量変化率	% -0.02	1.0 以下
密度 (15℃)	g/cm ³ 1.029	1.000 以上

※1 舗装再生便覧(平成 22 年) p13 表-2.3.3

表-2 混合物性状（例）

項目			性状例	基準値※2
温度	混合	℃	150	—
	締固め	℃	140	—
マシヤル	密度	g/cm ³	2.376	—
	空隙率	%	4.0	3～6
	安定度	kN	10.312	4.90 以上
	70-値	1/100cm	28	20～40
圧裂係数		MPa/mm	0.56	—

※2 舗装再生便覧(平成 22 年) p23 表-2.4.9

※3 混合物種：再生密粒度アスコン（13）、再生骨材 45%、
設計針入度 70